

【直接応募 Direct Application】

奨学金等名称 Name of Foundation (or Name of Scholarship)		
大塚敏美育英奨学財団 Otsuka Toshimi Foundation		
採用数 Offer	募集人数(全体) Number of Openings (total)	本学よりの採用実績(前年度) Number of Grantees at Chiba Univ. (previous year)
	90名程度	情報なし
所属 Department	学部学生 Undergraduate Students 大学院生 Graduate Students	
国籍 Nationality	不問 Unmentioned	
主な応募資格等 Some of Eligibility Requirements	<p>※応募、書類選考、面接、認定式の時点で日本国外にいる人は選考対象外です。 *Those who are outside Japan at the time of application, document screening, interview, or certification ceremony are not eligible for selection.</p> <p>・2022年4月1日時点で満38歳以下の私費留学生 An applicant must be 38 years old or younger as of April 1, 2022</p> <p>・日本国内の大学または大学院の正規課程に在学し、人の健康に深く関連する分野を研究する者。 (医学・薬学・生物学・栄養学・体育学・工学・経営学等の分野)。工学については医学・薬学に深く関連する分野に限る。 Undergraduate students (3rd year and 4th year) and Master's program students and doctoral program students who specialize in medicine, pharmacy, biology, nutritional science, physical education, engineering and business administration.</p> <p>・学部生1年、2年生は応募不可。3年生以上の学部生についても、成績が極めて優秀な場合(すべて優/Aなど)を除き、応募不可 Students in the first and second years of undergraduate degree programs are not eligible to apply. Third- and higher-year undergraduate students are neither eligible to apply, except for those with particularly excellent academic records, such as those with straight A's.</p> <p>・独自性のある研究、革新的な研究に携わっている者 International student who are studying the uniqueness research or innovative research.</p> <p>・新規申請者: 過去に当財団からの奨学金を受給していない者 New applicants only.</p>	
		支給金額 Amount
助成対象期間	1年間 1 academic year	
	始 From	2021年4月
	至 To	2022年3月
年額200万円、年額150万円または100万円 (併給の場合は年額50万円) 2,000,000yen/year, 1,500,000yen/year or 1,000,000yen/year (if you have other scholarships, 500,000yen/year)		
受付期間 Application(yyyy/mm/dd)		
Web提出: 2022/3/10~2022/4/21 17時 郵送: 2022/4/1~2022/4/25 15時(事務局必着) ※継続者は応募締切日が異なるので、HPを要確認		
問い合わせ先・書類提出 Contact / Offices to Submit Your Application		
希望者は、財団のホームページをよく読み、願書等をダウンロードして下さい。 「Web提出」と「原本の郵送」の両方の手続きが必須です。 Download the Scholarship Application Forms (Japanese versions only) from the URL. Applicants must complete online submission then mail the original documents to the Foundation. ホームページURL: http://www.otsukafoundation.org/ 〒540-0021 大阪市中央区大手通3-2-27 大塚グループ大阪本社ビル 公益財団法人 大塚敏美育英奨学財団 事務局 電話: 06-6105-0870(代表)		
特記事項 Note		
※推薦状以外の願書等はすべて応募者が日本語または英語で手書きする。 Only handwriting in Japanese or English (except recommendation letter) International student who write in English must attach Japanese translation.		

掲示日: 2022/3/11

2022年度募集要項(直接応募)

奨学金制度の概要

1) 奨学金給付額

年額200万円、150万円または100万円(当財団選考委員会による評価に応じて決定)

ただし、他奨学金と併給の場合は年額50万円(奨学期間中の他奨学金の合計額が180万円以上になる場合は併給不可)

※学業が不良のとき、また法律を犯す行為だけでなく、倫理・道徳観念上、学生として不適切な行為があった場合は、給付額減額または給付停止となることがあります。

2) 奨学期間

1年間(2022年4月~2023年3月)

※奨学期間中、所属大学に在学していることが条件です。なお、奨学期間は1年間ですが、継続申請を認めます(奨学期間は最長3年間まで)。

3) 申請者の区分

1. 新規申請者: 当財団から奨学金の給付を受けたことのない者

2. 継続申請者: 当財団から過去に奨学金を給付された者

※ただし、継続申請は2021年度に成果・進展のあった者に限り認めます。

※過去に応募した際の願書を書き写した者は不採用とします。

4) 給付停止の要件

1. 退学したとき

2. 奨学生が休学し、又は長期にわたって欠席したとき

3. 奨学生が原級にとどまったとき、又は卒業延期の恐れが生じたとき

4. けが、病気などのため成業の見込みがなくなったとき

5. 学業成績又は性行が不良となったとき

6. 奨学金を必要としない理由が生じたとき

7. 上記のほか、奨学生として適当でない事実があったとき

8. 在学校で処分を受け、学籍を失ったとき

9. その他奨学生としての資格を失ったとき

応募資格

※応募、書類選考、面接、認定式の時点で日本国外にいる人は選考対象外です。

(1) 2022年4月1日時点で満38歳以下の私費留学生(在留資格が「留学」の者に限る)

(2) 日本国内の大学又は大学院の正規課程に在学し、人の健康に深く関連する分野(医学、歯学、薬学、生物学、栄養学、体育学、工学等。ただし工学は医学・薬学に関連の深い分野の研究をしている者に限る。※医学・薬学との関連が願書に明記されていない場合は選考対象外)及び経営学(経営学の基盤ができていない発展途上国出身の留学生については「国際関係学分野」も対象に含む)の研究をしている者(ただし、学部1、2年生は応募不可。3年生以上の学部生についても、成績が極めて優秀な場合(すべて優/Aなど)を除き、応募不可)

(3) 向学心に富み、学業優秀であり、品行方正である者

(4) 独自性のある研究、革新的な研究に携わっている者

(5) 財団に提出する書類(応募書類を含む)に対して指導教員などのしかるべき指導、チェックを受けられる者

(6) 奨学期間中に合計40日以上日本を離れない者

(7) 国際的視野を持ち、日本と各国の架け橋としてリーダーシップを発揮できる者

(8) 学資の支弁が困難と認められる者

(9) 当財団のイベントや奨学生のネットワークに積極的に参加し協力できる者

(10) 日本語を学ぶ意欲のある者

※英語で書かれた願書も受け付けますが、願書及び面接において日本語への意欲が見られない場合は減点します。

(11) 研究成果をもって社会貢献を期する者

(12) 上記(1)~(11)の資格及びその他当財団の定める条件を満たす者

※標準修業年限内での修了が見込めない者は応募不可

※夜間・週末の授業のみ、通信制の留学生は応募不可

応募方法

申請サポートシステムを導入しています。「Web提出」と「原本の郵送」の両方の手続きが必須です。

1) 応募方法 ※詳細は別紙「申請の流れ」をご覧ください。

1. 当財団ホームページの「奨学金に応募する」より申請サポートシステムへ入り、「申請の流れ」に従って基本情報を入力の上、PDFにした願書(推薦状は除く)、成績証明書、日本語訳(英語で願書を記入した場合のみ)をWeb提出してください。指定されていない書類(論文など)はアップロードしないこと

※推薦状を除く願書の全ページ(写真のあるページはカラー)がアップロードされていない場合は選考対象外となります。

※Web提出する願書にも必ず写真を貼付すること。

※願書は必ずスキャンしてPDFにすること(アプリなどで写真をPDFに加工したものは不可。横向き不可)。

※入力した基本情報と願書の内容に差異がある場合は選考対象外となります(特に氏名と研究タイトルに注意)。

Web提出のやり直しはできません。よく確認の上、提出ボタンを押してください。

2. Web提出後に通知される受付番号を指定の5カ所(「申請の流れ STEP04」参照)に記入の上、応募書類をまとめて事務局宛に郵送してください。また、5カ所に加えて推薦状の入った封筒、願書を郵送する封筒等、すべての封筒にも受付番号を書いてください。

【送付先】 〒540-0021 大阪市中央区大手通3-2-27 大塚グループ大阪本社ビル

公益財団法人 大塚敏美育英奨学財団 事務局

※Web提出した願書と郵送した願書に差異がある場合は選考対象外となります。

※提出された書類は、当財団の事業を遂行する目的以外には一切使用しません。

※応募書類は返却しません。

2) 応募書類

1. 該当の奨学生願書(A4サイズで片面印刷した当財団指定用紙を使用し、ホチキス留めをしないこと。ページが欠けているものは選考対象外)
※推薦状以外の書類はすべて応募者本人が日本語または英語で手書きすること(黒インクのペンを使うこと。消せるペン・青インクのペンは使用不可)。
なお、英語で書かれた願書も受け付けますが、日本語訳の添付が必須です(日本語訳の不備、字数制限のあるページに対して日本語訳に字数が明記されていないものは選考対象外)。英語で願書を提出する場合は日本語訳についてのQ&Aを必ず参照してください。
※新規申請と継続申請、医薬系と経営系で願書が異なりますので注意してください。誤った願書で応募した場合は選考対象外となります。
※継続申請者は過去に応募した際の願書を書き写さないこと。前回の記述を一部でも書き写した者は選考対象外。抱負や研究内容に変更がなかったとしても、必ず新たな表現で書き起こすこと。
※指導教員の適切なチェックを経ていないと思われる応募書類(願書の内容及び日本語訳を含む)を提出した者は選考対象外とします。
2. 推薦状(推薦者が自筆で署名の上、密封して提出すること。推薦状が英語の場合、日本語訳の添付が必須です)
※同じ指導教員から2人以上推薦される場合は、推薦状に「推薦順位とその理由書」を添付して密封してください(1人のみ推薦される場合は不要)。
3. 写真1枚(4.5×3.5cm、カラー、胸から上、正面で、応募前6ヵ月以内のものを願書に貼付のこと)
4. 成績証明書(履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のあるもの。合格、不合格の評価のみのものは不可。段階評価又は点数評価された直近の年のものを送付のこと。成績通知書は不可。成績が出ない旨の証明書は不可)
※成績証明書は1年分必要なため、直近のものが半年分の場合はその前年のものも添付すること。
5. 在学証明書(日本語で書かれた2022年4月1日以降のもの。コピー不可)
6. 住民票の写し(募集開始日以降のもの。コピー不可。「国籍・地域」「在留資格等」が省略されたもの不可。マイナンバーが記載されたもの不可)
7. 【該当者のみ】2022年4月～2023年3月にかかる期間で他の奨学金、研究助成金を受給する場合、その内容を証する書類(支給団体名、期間、金額等を証する写し)

3) 応募期間

※新規申請者と継続申請者で応募締切日が異なりますので、注意してください。

1. 新規申請者(当財団から奨学金の給付を受けたことのない者)
Web提出: 2022年3月10日(木)9時～4月21日(木)17時
郵 送: 2022年4月1日(金)～4月25日(月)15時(事務局必着)
2. 継続申請者(当財団から過去に奨学金を給付された者)
Web提出: 2022年3月10日(木)9時～4月12日(火)17時
郵 送: 2022年4月1日(金)～4月14日(木)15時(事務局必着)

選考、採用及び奨学金の給付について

1) 選考

選考は書類選考と面接試験(書類選考合格者のみ)によって行い、採用は選考委員会を経て理事会で決定します。
書類選考不合格者への通知はしません。なお、面接試験は大阪または東京で6月下旬～7月初旬に行います。

2) 採用

7月中旬までに採否を決定し、本人に通知します。その通知をもって内定とし、7月29日(金)、30日(土)に開催する当財団認定式への出席及び当財団指定の「確認書」の提出をもって正式採用とします。確認書提出後の辞退、併給への変更はできません(他の奨学金・研究助成金等を申請する場合は、必ず申請前に事務局に連絡すること)。

3) 奨学金の給付

原則として年間給付額を2回に分けて、8月(認定式終了後)、12月の一定日に本人名義の口座に直接振り込みます。
また、研究や日本語学習、国際理解に役立つ本を買う費用として図書費を給付します(金額は1万円程度を予定しています)。図書費で購入した本の読書レポートを提出していただきますので、予めご了承ください(11月頃予定)。

4) 採用予定人数

2022年度: 約90人(2021年度の実績76人、2020年度の実績81人)

特 徴

この奨学金の特徴は次の通り

- (1) 奨学金は給付とし、返済の義務はありません。ただし、虚偽の申告をした場合、奨学生の義務を果たさなかった場合はこの限りではありません。
- (2) 奨学生の卒業後の就職、その他一切については本人の自由とします。

奨学生の義務

奨学生は以下に定める義務を履行する必要があります。

- (1) 奨学生は、募集要項に規定された内容を遵守し、資格条件に抵触することがあれば速やかに届け出ること
- (2) 次のいずれかに該当する場合は、直ちにその旨を代表理事に届け出ること
 1. 休学、復学、転学又は退学したとき
 2. 停学その他の処分を受けたとき
 3. 氏名、住所その他重要な事項に変更があったとき
 4. 留年又は卒業延期の恐れが生じたとき
- (3) 以下の書類を代表理事に提出すること
 1. 在学証明書及び生活状況報告書
 2. 成績証明書
- (4) 当財団主催の行事に参加すること
- (5) 奨学期間終了後も定期的に当財団に近況を報告し、卒業生のネットワークに参加すること

Q & A

応募資格に関するQ & A

Q. 国籍の制限はありますか？

- A. 国籍の制限はありません(ただし、日本国籍を有する者を除く)。

Q. 在留資格が「留学」以外でも応募できますか？

- A. 在留資格が「留学」の人のみ応募できます。

Q. 在学する学部・学科、研究内容等が応募対象になるかわからないのですが？

- A. 在学する学部・学科にかかわらず、研究内容が人の健康に深く関連する分野(医学、歯学、薬学、生物学、栄養学、体育学、工学等)及び経営学であれば応募できます。それでも自分で判断できない場合のみ、当財団ホームページのお問い合わせフォームより、具体的な研究内容を記入して事務局にお問い合わせください。

Q. 経営学専攻でなければ応募できませんか？

- A. 経営学に関連していれば経済学など幅広い分野が対象となります。また、経営学の基盤ができていない発展途上国出身の留学生については「国際関係学分野」も対象に含まれます。

Q. 生物学専攻で、植物や動物に関する研究をしているのですが、応募できますか？

- A. 人の健康に応用できる研究であれば応募できます。ただし、必ず願書に「どのように応用可能か」を記入してください。

Q. 工学系の専攻なのですが、応募できますか？

- A. 応募できますが、「医学・薬学に関連の深い工学分野」を研究している人に限ります。例えば、検査・分析機器の開発、生体材料工学、光学機器開発、放射線(治療・診断)、ロボット工学などの人間医工学及び医薬生物・ゲノム統計解析などの生命情報学、計算科学、創薬に関わる研究などが対象です。願書に「医学・薬学にどう関連するか、どう応用できるか」を必ず明記してください。関連が不明確な場合は選考対象外となります。

Q. 研究生も応募できますか？

- A. 研究生は応募できません。非正規留学生は対象外です。

Q. 入学前に応募できますか？

- A. 応募できません。願書とともに在学証明書の提出が必須のため、4月時点で正規課程に在学中の人が対象です。

Q. 学部生は応募できますか？

- A. 学部1、2年生は応募できません。3年生以上の学部生についても、成績が極めて優秀な場合(すべて優/Aなど)を除き、応募不可です。

Q. 2022年秋に卒業するのですが、応募できますか？この場合、半年分の奨学金の受給はできますか？

- A. 応募できません。奨学期間(2022年4月から2023年3月まで)に在学している人のみが対象です。また、半年分の奨学金給付は行いません。ただし、卒業後進学予定で、合格証明書又は入学を証明する書類を応募書類と共に提出できる場合は応募できます。進学後の指導教員が応募者と面談を重ねているなど、十分な認識をもって推薦状を書ける場合のみ対象となります。

Q. 標準修業年限内に卒業できないかもしれないのですが、応募できますか？

- A. 長期履修生や標準修業年限を越えている人(オーバードクターを含む)、標準修業年限内での修了が見込めない人は応募できません。採用されてから卒業延期となった場合は採用が取り消されます。

Q. 年齢制限はありますか？

- A. 2022年4月1日時点で満38歳以下の人が対象です。

Q. 他の奨学金を受給している場合でも応募できますか？

- A. 受給している他の奨学金が併給可能で、かつ奨学期間中の他奨学金の合計額が180万円未満の場合は、応募できます。支給団体名、期間、金額等を証するコピーを提出してください。ただし、給与として受給しているものがある場合は応募できません。

Q. 交換留学をする予定ですが、応募できますか？

- A. 交換留学、帰省、旅行、日本国外からオンライン授業を受ける等で奨学期間中に合計40日以上日本を離れる(生活のベースが日本にない状態)予定がある人は応募できません。

提出書類に関するQ & A

Q. 募集要項等の書類はどこで入手できますか？

- A. 募集要項等は、ホームページで見ることができます。また、願書(当財団指定用紙)はホームページからダウンロードして使用してください。新規申請と継続申請、医薬系と経営系で願書が異なりますので注意してください。誤った願書で応募した場合は選考対象外となります。

Q. 願書③「所属機関」は、いつ時点の情報を記入すればいいですか？

- A. 所属機関・学年他、学業・生活面の各項目については、2022年4月時点の状況を正確に記入してください。

Q. 願書④「学歴・職歴」はどのように記入すればいいですか？

- A. 母国の最終学歴から現在までの経歴(日本語学校や研究生等含む)を上から順に時系列で空白期間がないように記入してください。職歴がある場合は具体的に記入してください。

記入例)

2012	9	~	2016	7	〇〇大学 △△学部 ××学科 (中国〇〇省△△市)
2016	9	~	2017	8	株式会社〇〇〇 研究開発職 (中国〇〇省△△市)
2017	9	~	2019	8	☆☆☆日本語学校(東京)
2019	10	~	2020	3	〇〇大学大学院 △△研究科 研究生
2020	4	~	2022	3	〇〇大学大学院 △△研究科 博士前期課程
2022	4	~			〇〇大学大学院 △△研究科 博士後期課程

Q. 入学したばかりで、在籍する大学院の成績証明書がありません。その場合、大学の時の成績証明書で応募できますか？

A. 卒業した大学の成績証明書で応募できます。

Q. 成績証明書は原本でなく、コピーでもいいですか？

A. コピーで応募できます。

Q. 母国語で書かれた成績証明書で応募できますか？

A. 日本語または英語表記の成績証明書の取得が困難な場合は、母国語で書かれた成績証明書で応募できます。なお、募集要項に記載の通り、履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のある直近の年のものを提出してください(合格、不合格の評価のみのもは不可)。成績証明書は1年分必要なため、直近のものが半年分の場合はその前年のものも必ず添付してください。

Q. 郵送の締切は消印日ですか？到着日ですか？

A. 新規・継続共に郵送締切日の15時事務局必着です。郵送以外は受け付けません。なお、当財団ホームページの申請サポートシステムからのWeb提出は、Web提出締切日の17時までですので、注意してください。必ずWeb提出後に応募書類を郵送してください。

Q. 願書は手書きでなくても応募できますか？

A. 応募者本人が手書きで記入してください。タイプした願書や代筆が含まれたもの、消せるペンで記入したものは選考対象外です。

Q. 推薦状も手書きでないといけませんか？

A. タイプしたもので可能です。当財団ホームページからエクセル版をダウンロードできますので、そちらを使用してください。ただし、氏名欄(ご署名)は推薦者が必ず自筆で記入してください。代筆や記名の場合は選考対象外となります。

Q. 英語で書いた願書は受け付けていますか？

A. 受け付けますが、英語で記入した部分は固有名詞も含めすべて日本語訳の添付が必須です。その場合も、願書への英語での記入は必ず応募者本人が手書きで行ってください。なお、日本語で記入できる部分は日本語で記入してください。日本語訳は手書きである必要はなく、様式は問いませんが、願書の各ページに対応させてください。両面は不可です。不自然で意味の通らない訳、誤訳、大幅な訳漏れ、原文にない内容が訳に入っている等の日本語訳の不備は選考対象外となりますので、注意してください。「将来の抱負(将来の抱負とこの1年の進捗)」「研究内容(研究について、この1年の進捗と今年度の計画)」「過去1年の成果及び活動」については必ず字数制限を守り、字数を明記してください。

Q. 英語で記入する際、願書のマス目がある「将来の抱負(将来の抱負とこの1年の進捗)」「研究内容(研究について、この1年の進捗と今年度の計画)」「過去1年の成果及び活動」はどのように記入したらいいですか？

A. マス目を無視して記入してください。英語の字数については問いませんが、日本語訳については必ず字数制限を守り、字数を明記してください。

Q. 研究内容が特にならない場合は、研究内容には何を書いたらいいですか？

A. 「今後研究したいテーマ」とその手法を具体的に800字以内で記入してください。

Q. 現在、病院実習中で研究していない場合、研究内容には何を書いたらいいですか？

A. 「実習で何を学んでいるか、今後医学的に何を成し遂げたいか」を800字以内で記入してください。

Q. 「過去1年の成果及び活動」が特にならない場合はどうしたらいいですか？

A. 学会発表・論文投稿だけでなく、学業面の成果や社会貢献活動等を含めて、1年間の成果及び進展について記入してください。昨年度の成果及び進展が乏しい場合は応募できません。

Q. 医薬系の願書10ページ目「学会発表、論文掲載の研究実績」の論文の実績はどのように書けばいいですか？

A. 「著者名」「論文標題」「雑誌名」「巻」「最初と最後の頁」「発行年(西暦)」「査読の有無」「IF」「掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)」を記入してください。著者名が多数の場合、上位3名のみ記入しその他の著者を省略することは問題ありません。なお、省略する場合は、著者の総数と申請者の順番を○番目と記入してください。

Q. 「他奨学金・研究助成金の併願状況」の受給状況について、1回のみ支給される場合などはどのように記入すればいいですか？

A. Web入力時は「年額」を選択して給付の総額を入力してください。願書には、空いているスペースに「1回のみ」など、内容がわかるように記入してください。その他の項目についても説明が必要な場合は、願書の空いているスペースに内容を記入し、目印として付せんをつけてください。

Q. 願書⑤「外国人留学生担当部署・担当者名」とは何ですか？

A. 在学の大学・大学院で奨学金を担当する学生課などの部署名と担当者の名前を記入してください。連絡先電話番号の欄には担当部署への直通電話番号、担当者メールアドレス欄には担当者のemailアドレスを記入してください。(直通電話番号が分からない場合は、代表番号で結構です。)空欄の場合は選考対象外となります。研究室の連絡先は不可です。

Q. 特定の指導教員がいない場合、推薦状は誰に書いてもらえばいいですか？

A. 学部長もしくは研究科で責任のある方に記入してもらってください。ただし、専攻の授業や研究指導を請け負っている方のみです。今後の研究について、責任をもって指導いただける方の推薦状が必要です。

Q & A

Q. 受付番号を書く5カ所とはどこですか？

- A. 募集要項または申請システムの「申請の流れ STEP 04」を参照してください。また、5カ所に加えて推薦状の入った封筒、願書を郵送する封筒等、すべての封筒にも受付番号を書いてください。

奨学金額に関するQ & A

Q. 奨学金の金額はどのように決まりますか？

- A. 当財団選考委員会による書類審査、面接試験の評価に応じて200万円、150万円、100万円のいずれかを決定します。他奨学金と併給の場合は一律50万円になります。

Q. 研究助成金の受給やアルバイト等での収入は合否に影響ありますか？

- A. TAやRA、アルバイトなどの収入や研究助成金の受給は合否に影響はありません。ただし収入と支出の明細が記入されていない、収支が合わないなど願書からどのように学費や生活費を賄っているか読み取れない場合、又は合理的な説明がなされていない場合は選考対象外となりますので、現状を正確に記入してください。

Q. 他奨学金と併給できますか？併給する場合、受給している金額にかかわらず減額されますか？

- A. 奨学期間中の他奨学金の合計額が180万円未満であれば併給できます。併給する奨学金の金額にかかわらず一律50万円を給付します。国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」、文部科学省の「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」他、同様のプログラム／プロジェクトに基づく給付金との併給はできません。

Q. 奨学金と研究助成金はどう区別しますか？

- A. 研究奨励費、研究専念支援金などの名称にかかわらず、用途（研究に直接必要な物品の購入費用など）が指定されていないもの、生活費にあてられるものはすべて奨学金とみなします。

Q. 入学金や学費の免除は併給になりますか？

- A. 併給にはなりません。

Q. アルバイトやTA、RAなどの収入は併給になりますか？

- A. 併給にはなりません。

Q. 貸付の奨学金は併給になりますか？

- A. 併給にはなりません。国や財団等からの返済の必要がない奨学金のみ併給とみなします。

日本語能力に関するQ & A

Q. 日本語のレベルにかかわらず応募できますか？

- A. 応募できます。ただし、在日期間に比しての日本語能力は、合否に影響を及ぼす可能性があります。また、面接で日本語を一言も話さないなど、日本語に対する消極的な態度は評価にマイナスとなります。

Q. 英語で面接を受けることはできますか？

- A. 原則、面接は日本語ですが、在日期間が短い人は英語での面接も可能です。ただし、日本語で願書を提出した場合は日本語での面接になります。英語での面接は認めませんので、必ず応募者が使用可能な言語で願書を記入してください。英語で面接を受ける場合も、簡単な自己紹介など日本語で話す努力をした場合はその姿勢を評価します。

応募者数・採用者数に関するQ&A

Q. 例年何人ぐらいの応募がありますか？

- A. 2021年度の応募者数は320人、2020年度は357人でした。

Q. 奨学生の採用人数は何人の予定ですか？

- A. 2022年度は約90人採用予定です。2021年度は76人、2020年度は81人を採用しました。

その他のQ & A

Q. 受付番号がわからないのですが？

- A. 受付番号はWeb提出完了時に発行されます。

Q. Web提出したら、応募手続きは完了ですか？

- A. まだ応募手続きは完了していません。各申請書類の指定の5カ所（「申請の流れ STEP04」参照）に受付番号を記入し、応募書類をすべて揃えて、速やかに郵送してください。また、5カ所に加えて推薦状の入った封筒、願書を郵送する封筒等、すべての封筒にも受付番号を書いてください。

Q. 願書が事務局に届いたかどうか心配で確認したいのですが？

- A. 応募者が多いため、到着の有無についてはお答えできません。事務局に届いているかどうか心配な場合は、郵送する際に書類の追跡ができるレターパックや簡易書留等で送ってください。

Q. 願書を事務局に直接持って行ってもいいですか？

- A. 郵送のみ受け付けます。事務局に直接持参した場合や、FAXやメールでの提出は選考対象外となります。

Q. 面接はいつ、どこにありますか？

- A. 大阪または東京で6月下旬～7月初旬に行います。こちらで指定した日時・会場にお越しください。

Q. 面接の連絡はいつ来ますか？

- A. 6月下旬に応募者本人にメールで直接連絡します。事務局から連絡がない人は不合格となります。また、合否についての問い合わせには一切お答えできません。

Q. 継続申請の場合も新規申請と同じように応募書類をすべて揃えて提出しないとダメですか？

- A. 継続申請の場合も新規で応募した時と同様に、すべての応募書類を揃えて事務局宛に提出してください。

掲載のQ&A以外にも、当財団ホームページに応募Q&Aを掲載しておりますので、参照してください。

Scholarship Guide for fiscal 2022 (Direct Application)

Scholarship Program Overview

1) Amount of scholarship

Annual sum of ¥2.0 million, ¥1.5 million or ¥1.0 million, determined on the basis of evaluations by our selection committee.

Annual sum of ¥500,000 for applicants receiving scholarships or benefits from other sources (the sum total of scholarships or benefits from other sources received during the scholarship period must be less than 1.8 million yen)

Note: A scholarship recipient's failure to make satisfactory academic progress or any unethical or immoral behavior or illegal act by the recipient may result in a reduction or withdrawal of his/her scholarship.

2) Period covered by scholarship

One year: From April 2022 to March 2023

* Recipients must be enrolled in their university for the entire period covered by the scholarship.

Recipients may apply for a renewal of their scholarship for up to two times, for a total scholarship period of three years.

3) Applicant categories

1. New applicants: Applicants who have not previously received a scholarship from the Foundation

2. Renewing applicants: Applicants who have previously received a scholarship from the Foundation

* For renewing applicants, we accept only those who had enough achievements and advancements over the past one year.

* Copying of the past application materials will cause you to be disqualified.

4) Grounds for withdrawal of scholarship support

(1) The scholarship recipient withdraws from school.

(2) The recipient takes a leave of absence from school or does not attend classes for an extended period.

(3) The recipient fails to advance toward his or her degree or is at risk of failing to meet graduation requirements.

(4) The recipient is not expected to graduate due to injury or illness.

(5) The recipient fails to make satisfactory academic progress or engages in unethical behavior.

(6) Circumstances render the scholarship unnecessary.

(7) Circumstances other than the above arise that disqualify the recipient.

(8) The recipient is expelled from school for disciplinary reasons.

(9) The recipient otherwise ceases to meet scholarship criteria.

Eligibility

***Those who are outside Japan at the time of application, document screening, interview, or certification ceremony are not eligible for selection.**

(1) Applicants must be self-supporting international students residing in Japan with "college student" status and must be 38 years old or younger as of April 1, 2022.

(2) Applicants must be enrolled in an official degree program at a university or graduate school in Japan and pursuing studies in a field directly relating to human health (such as medicine, dentistry, pharmacology, biology, nutrition, physical education, or engineering {for engineering, must also be a field directly relating to medicine/pharmacology. *applicants will be disqualified unless the relationship with medicine/pharmacology is clearly stated in the Scholarship Application Form}) or business administration (for students from developing countries where business administration is not an established discipline, "international relations" is also acceptable). (Students in the first and second years of undergraduate degree programs are not eligible to apply. Third- and higher-year undergraduate students are neither eligible to apply, except for those with particularly excellent academic records, such as those with straight A's.)

- (3) Applicants must be highly motivated, possess an outstanding academic record, and demonstrate personal integrity.
- (4) Applicants must be involved in creative or innovative research.
- (5) Applicants must be able to have their supervising professor or other person provide appropriate guidance and pre-checking of the documents they submit to the Foundation (including application documents).
- (6) Applicants are not permitted to leave Japan for 40 or more days in total during the period covered by the scholarship.
- (7) Applicants must have an international perspective and demonstrate the ability to lead and serve as a bridge between Japan and other countries.
- (8) Applicants must demonstrate a need for financial aid.
- (9) Applicants must give full support and cooperations to events held by the Foundation and must contribute to building network between scholarship recipients.
- (10) Applicants must be motivated to study the Japanese language.
 - * The Scholarship Application Form may be completed in English, but selection points will be deducted if applicants fail to show any motivation to study Japanese in the Scholarship Application Form and interview.
- (11) Applicants must be committed to contributing to society through their research.
- (12) Applicants must meet the requirements specified in (1) to (11) above and other requirements stipulated by the Foundation.
 - * Those who are unlikely to complete their studies within the standard period for completion are ineligible.
 - * Those who have classes only at night or over weekends, or who are enrolled in a correspondence education program are ineligible.

Applications

We have introduced an Application Support System. Applicants must complete online submission then mail the original documents to the Foundation.

1) How to apply *For more information, refer to the “Application Process” section.

1. From the top page of the Foundation’s website, choose “Apply Now” to enter the Application Support System. Follow the instructions under “Application Process” to enter your basic information and submit your Scholarship Application Form (excluding letter of recommendation), Academic Transcript, and Japanese translation (only if you completed the application form in English) as PDF files. (Do not upload papers or other undesignated documents.)

* Lack of pages or necessary documents will cause you to be disqualified. (The page with photograph should be scanned in colors.)

* Be sure to attach a photograph to the Scholarship Application Form you submit online.

* Be sure to use a scanner to digitize your form as a PDF file. (We do not accept PDFs created from photographs using smartphone applications and the like. Do not scan using horizontal [landscape] orientation.)

* You will be disqualified if there are any differences between the content of the Scholarship Application Form and the basic information you entered. (Special attention should be paid to your name and research subject.)

You cannot cancel your online submission, so please be cautious when making online submission.

2. Write the reference number issued after online submission in the required five spaces (refer to STEP04 of the “Application Process” section) on your application documents, and mail the documents to the Foundation. In addition to these five spaces, you must also write the reference number on the envelope containing your letter of recommendation, the envelope in which you send your Scholarship Application Form, and all other envelopes used in the application.

[Address]

Otsuka Toshimi Scholarship Foundation Office
 Otsuka Group Osaka Headquarters Building
 3-2-27 Otedori, Chuo-ku, Osaka
 540-0021, Japan

Notes:

- * You will be disqualified if there are any differences between the content of the Scholarship Application Form you submitted online and the one sent to the Foundation by mail.
- * Documents submitted will not be used for any purpose other than the business of the Foundation.
- * The documents will not be returned to applicants.

2) Application materials

1. Scholarship Application Form for your application category (Use the form designated by the Foundation, printed on a single side on A4 size paper. Please leave pages unstapled. You will be disqualified if the application form lacks any of the pages.)

- * All documents other than the letter of recommendation must be handwritten in Japanese or English by the applicant (Use pens with black ink. Do not use erasable pens nor pens with blue ink). Applications completed in English must be accompanied by a Japanese translation (those submitted without complete and accurate Japanese translation will be disqualified. You will also be disqualified if the Japanese translation fails to indicate the character counts of the sections that have predetermined character limits). If you are to submit the applications in English, make sure to read parts explaining about Japanese translation in our Application FAQs.
- * Please note that application forms are different for new and renewing applicants, as well as for the medical fields and the business fields applicants. Your application will be ineligible if you do not use the correct form.
- * Renewing applicants must not copy from a Scholarship Application Form submitted for a previous application.
You will be disqualified if you copy any material from a previous application. Even if there has been no change in your future aspirations and research subjects, you should rewrite your application in new words.
- * Applicants submitting application documents (including the contents of the Scholarship Application Form and Japanese translations) that appear not to have been checked appropriately by their supervising professor shall be disqualified.

2. Letter of recommendation duly signed by the recommender and placed in a sealed envelope for submission (letters written in English must be accompanied by a Japanese translation).

- * If a professor is to recommend two or more applicants, please rank the applicants and state the reasons behind, then enclose “the statement of reasons” (推薦順位とその理由書) in the same envelope with the letter of recommendation. (This does not apply when only one applicant is recommended.)

3. Color photograph: 4.5 cm x 3.5 cm photo showing the applicant facing forward from the chest up, taken no longer than six months ago (Paste the photo to the application form.)

4. Academic transcript: Most recent transcript, with course titles, credits earned, grades or other evaluations of student performance, and explanations of what the evaluations mean. (Pass/fail records alone are not acceptable.) Send a transcript current as of the most recent year for which level evaluations or grade evaluations were made. (Student grade reports are not acceptable. A statement of reasons for not having grades in the institution currently attended is not acceptable.)

- * At least one year’s worth of academic transcripts are required. If your most recent transcript only covers half a year, submit the one from the previous year as well.

5. Student registration certificate (in Japanese) issued on or after April 1, 2022. Photocopies are not acceptable.

6. Certificate of residence: Official copy of full record issued on or after the call for applications is made. Photocopies, records that do not show “Nationality/Region” and “Status of Residence, etc.,” and records that include an Individual Number (nicknamed “My Number”) are not acceptable.

7. [When applicable] Documents showing information on other scholarships and research grants: If the applicant is receiving a scholarship or research grant from another source between April 2022 and March 2023, include a copy of a document showing the name of the granting organization, the scholarship/grant amount and period, and other relevant information.

3) Application deadline

*** Please note that different application deadlines are set for new applicants and renewing applicants.**

- 1. New applicants: Applicants who have not previously received a scholarship from the Foundation**
Online submissions: Thursday, March 10, 2022, 9:00 a.m. - Thursday, April 21, 2022, 5:00 p.m.
Submissions by mail: Must arrive at the office no later than Monday, April 25, 2022, 3:00 p.m.

- 2. Renewing applicants: Applicants who have previously received a scholarship from the Foundation**
Online submissions: Thursday, March 10, 2022, 9:00 a.m. - Tuesday, April 12, 2022, 5:00 p.m.
Submissions by mail: Must arrive at the office no later than Thursday, April 14, 2022, 3:00 p.m.

Screening Process, Selection, and Scholarship Payments

1) Screening process

The screening process involves reviewing the application documents and interviewing candidates who pass the documents review. Scholarship recipients will be chosen by the Foundation's selection committee, with decisions finalized by the Board of Directors.

Applicants who do not pass the documents review will not be notified.

The interview portion of the process is generally carried out between late June to early July in Osaka or Tokyo.

2) Selection

Scholarship recipients will be selected and notified by mid July.

Attendance at the certification ceremony planned on Friday, July 29 and Saturday, July 30, and submission of a Letter of Agreement are compulsory for official certification as a scholarship recipient.

You cannot withdraw from or alter your scholarship to enable receipt of another scholarship or research incentive grant after submitting the Letter of Agreement. (It is essential that you contact the Foundation Office in advance if you plan to apply for another scholarship or research grant.)

3) Scholarship payments

Scholarship payments are generally made twice annually on predetermined dates in August (after the certification ceremony) and December. Payments will be deposited directly into the recipient's designated bank account.

Moreover, you will also receive a book purchase grant toward the cost of purchasing books useful in your research, Japanese language studies, and international understanding (the expected grant amount is approximately 10,000 yen). Please be aware that you will be required to submit a Reading Report (in around November) on all books purchased using the book purchase grant.

4) Planned number of recipients

Approx. 90 in fiscal 2022 (76 students received scholarships in fiscal 2021, 81 in fiscal 2020)

Scholarship type

1. The Otsuka Toshimi Scholarship is awarded with no obligation of repayment, except when false declaration is made or when a recipient fails to perform their obligations.
2. The Otsuka Toshimi Scholarship is free of any conditions related to post-graduation activities, including employment.

Obligations of Recipients

Scholarship recipients are expected to fulfill the following obligations:

- (1) Comply with all rules stated in the Scholarship Guide and inform the Foundation promptly if they cease to satisfy any of the conditions for granting the scholarship.
- (2) Promptly notify the Representative Director of the Foundation if any of the following occurs:
 - i. Leave of absence, reinstatement, transfer or withdrawal from school
 - ii. Suspension or other disciplinary action
 - iii. Change in name, address or other important personal information
 - iv. Likelihood of repeating a year of study or not being able to graduate within the standard period for completion
- (3) Submit the following documents to the Representative Director of the Foundation:
 - i. Student registration certificate and a report on living condition
 - ii. Academic transcript
- (4) Participate in events held by the Foundation.
- (5) Even after graduating, participate actively as an alumni and keep the Foundation updated of your current status.